

2025年度 検査総合部門 近畿支部研修会

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 近畿支部

担当：奈良県臨床検査技師会

【テーマ】 ～新しい多職種連携のカタチ～

【日時】 2025年6月21日 10時～16時30分

【場所】 奈良県商工会議所（貸会議室 | [奈良商工会議所](#)）

大和西大寺駅より徒歩5分

駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。

【定員】 60名

【参加費】 日臨技会員 3000円

非会員 5000円

9:30～ 受付

10:00～10:10 オリエンテーション

10:10～11:30 講演1 新しい多職種連携のカタチ

「肝炎コーディネーターとして」

三田市民病院 中務 雄介 先生

「(仮) 腹部超音波検査における造影剤投与を実施して」

大和高田市立病院 山下 垂衣 先生

「(仮) がんゲノム医療に関わる技師の立場から」

兵庫県立がんセンター 南 智也 先生

「(仮) 内視鏡検査に関わる技師の立場から」

兵庫医科大学病院 山下 いずみ 先生

11:30～12:30 講演2

「臨床検査室の外に出て活躍する～ 心理的安全性を自分事として捉える～」

アボットジャパン 梶 優展 先生

12:30～13:30 昼食

13:30～15:30 (予定) グループディスカッション

テーマ「南海トラフ地震に備えるには」

15:30～16:00 (予定) 発表

16:00～16:15 「阪神・淡路大震災の経験を次世代へ繋ぐ」

兵庫県立尼崎総合医療センター 真田 浩一 先生

16:15～ 閉会式

【要旨】

久しぶりの開催となる今回の研修会は、講演とグループディスカッションの2部制とします。

講演では、「新しい多職種連携のカタチ」として、様々な分野で活躍されている技師の先生方に業務内容や関わるようになったきっかけ、多職種で活動するにあたり心がけていること、などをご講演いただきます。技師が活躍する新しい分野を知り、臨床検査技師の能力を発揮し活躍できることは何かを考える機会とします。

アボットジャパンの梶先生には、「臨床検査室の外に出て活躍する～ 心理的安全性を自分事として捉える～」と題してご講演いただきます。

グループディスカッションでは、今年は阪神淡路大震災から30年という節目の年でもあり、必ずやってくるといわれている南海トラフ地震に備え、地震発生時にどのように対応するか（できるか）、また予期せぬ地震発生時にどのような手順で対応するのか、そのためには平時から準備しておくべきことは何なのか、など、グループでディスカッションしていただきます。グループディスカッション終了後に、阪神淡路大震災をご経験された真田浩一先生から震災時のご経験や皆様へのアドバイスについてご講演いただきます。参加者の皆さまには万が一の状況にも臨機応変に対応できるよう準備するきっかけとなることを期待します。

今回の研修会では、日常の医療の中で、また災害時においても臨機応変に活躍でき、色々な場面で貢献できる技師を目指すことを考える機会にしたいと考えます。

【参加申し込み期間】2025年3月1日（土）～2025年5月31日（土）

【申し込み方法】

- (1) 日臨技会員：日臨技 HP よりお申し込みください。
- (2) 日臨技非会員：E-mail でお申し込みください。

E-mail でのお申し込み方法

- ① 氏名（漢字およびフリガナ）、②施設名、③所属部署、④職種、
- ⑤電話番号、⑥ 連絡メールアドレス

を列記し、下記メールアドレスへ送信してください。

受付確認返信メールがない場合は、事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ】

研修会事務局

〒632-8552 奈良県天理市三島町 200

公益財団法人 天理よろづ相談所病院 臨床検査部 木下真紀

Tel：0743（63）5611（代表） 内線7441

E-mail：kensa.sougou2019@gmail.com